資料5

第3回今後の県立高校の在り方検討委員会

石見地域全体を視野に置いた 高校教育の方向性について ~工業教育を中心に~

日時:平成28年7月15日(金)

場所:サンラポーむらくも 彩雲の間

I専門教育に関する国の指針

教育再生実行会議第6次提言(H27.3.4)

「学び続ける」社会、全員参加型社会、地方創生を実現する教育の在り方について

◎地域の産業、担い手を育てる大学等をつくる

高等専門学校、専修学校、専門高校等は、地域のニーズに応じた学科構成の見直し、大学や産業界等と連携した長期間の実習・共同研究の実施等により、地域産業を担う専門的職業人材の育成を推進する。

さらに、専門高校等において、育成した人材が地元企業等から適切に評価され、地域での認識が高まるよう、資格や公的な職業能力の検定等も活用し、卒業生の職業能力を明らかにする取組を進める。

中央教育審議会 教育課程企画特別部会論点整理(H27.8.26)

- 5. 各学校段階、各教科等における改訂の具体的な方向性
- (4)主として専門学科において開設される各教科・科目

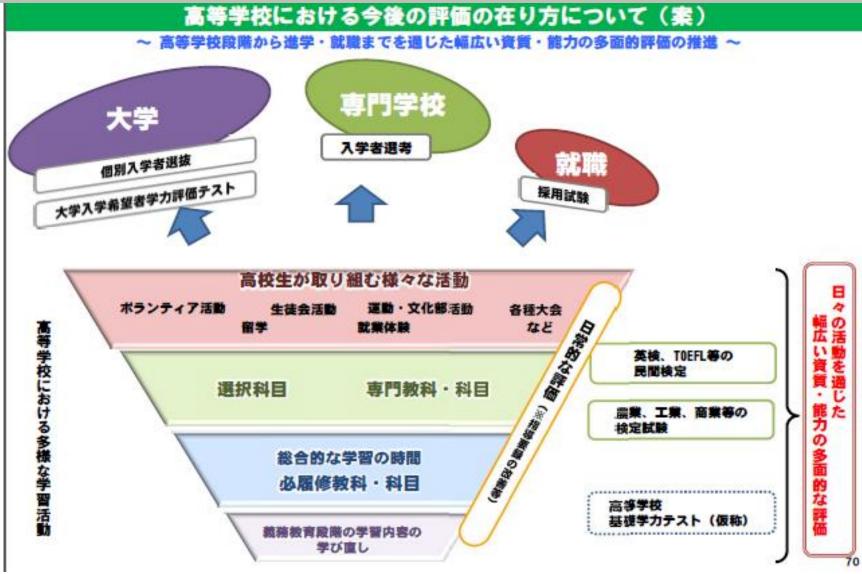
職業の多様化や職業人として求められる知識、技術及び技能の高度化に対応した実践的な教育を充実させるため、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールなどの先進的な取組に関する検証も踏まえつつ、地域や産業界、大学教育や専修学校教育等との連携を一層深めながら、社会の変化や産業の動向等に応じた教育内容の見直しを図ることが求められる。

※スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)

H26年度から専門高校において、産学連携強化により高度な知識・技能を身につけ、 社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を目的とする文科省事業。(3年) 指定校数H26:10校、H27:10校

中国地方では広島県庄原実業高校がH27年度指定

中央教育審議会 教育課程企画特別部会 論点整理(H27.8.26) 各学校段階等における改訂の具体的な方向性



課題例(各種提言より)

中央教育審議会 教育課程企画特別部会論点整理(H27.8.26) 各教科等における改訂の具体的な方向性

主として専門学科において開設される各教科・科目について(職業に関する各教科・科目)

現

状

①職業学科(専門高校)の現状

生徒数割合の減少(S30年40%→H26年19%)

- 就職率の減少(H2年75%→ H2年52%)

- ②産業社会の変化
 - •専門知識や技術・技能の高度化
- 分野を超えた複合的な産業が発展
- ③現行学習指導要領のポイント
 - ・「将来のスペシャリストの育成」、「地域産業を担う人材の育成」、「人間性豊かな職業人の育成」 を基本とした科目構成や内容改善科目数:従前169科目→現行188科目

①今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方(H23.1月中央教育審議会)

- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着と問題解決能力の育成
- 実践的な教育活動の実施、実務経験者の登用
- ・地域や産業圏との連携による学科整備・教育課程の編成
- ②中央教育審議会初等中等教育分科会高等学校教育部会 審議まとめ(H26.6月)
 - ・先進的な取組の推進・検証・大学、専門学校等外部機関の連携促進
- ③まち・ひと・しごと創生総合戦略(H26.12月閣議決定)
 - ・地元企業等と連携した実践的プログラム開発や教育体制の確立
 - ・地元企業等の適切な評価につなげ、育成された人材の認識向上

Ⅱ 島根県雇用対策と現状

島根県総合雇用対策の方針(第3次)(H28.6月)※高校関連抜粋

第3章 4 重点施策の概要 具体的取組

(1)産業人材の確保

【目標】県内企業の採用計画人員の充足率97.2%(H26) → 100%(毎年度)

(「高校生に対する対策」については(2)若年者の県内就職促進に記載)

(2) 若年者の県内就職促進

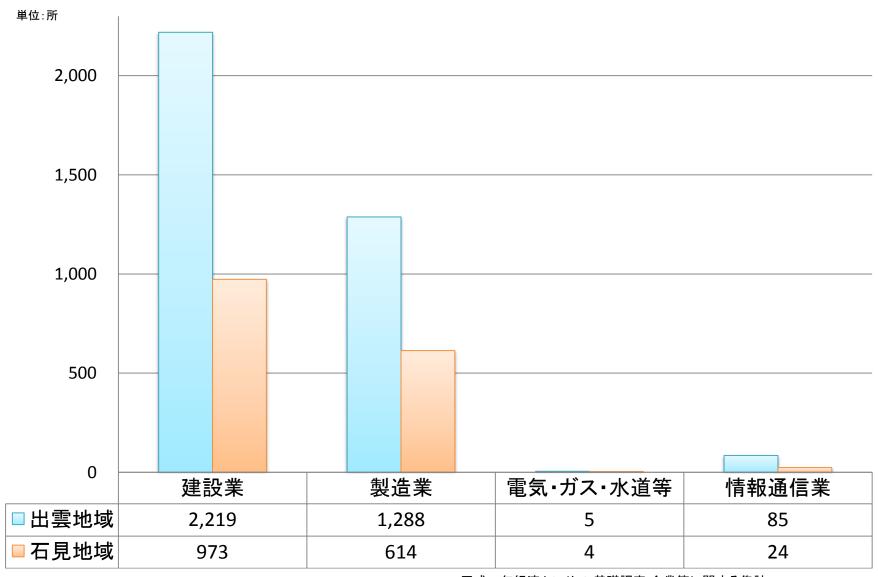
【目標】県内高校生の県内就職率 78%(H26)→84%(H31)

- ・企業見学事業、インターンシップ事業(高1生対象の職場見学、高2生対象の職場体験)
- •職業意識啓発セミナー事業(生徒・保護者対象の経営者や技術者の講演会)
- ・問題解決型学習(専門高校等における課題研究の取組への協力・支援)
- (3)産業人材の育成及び定着

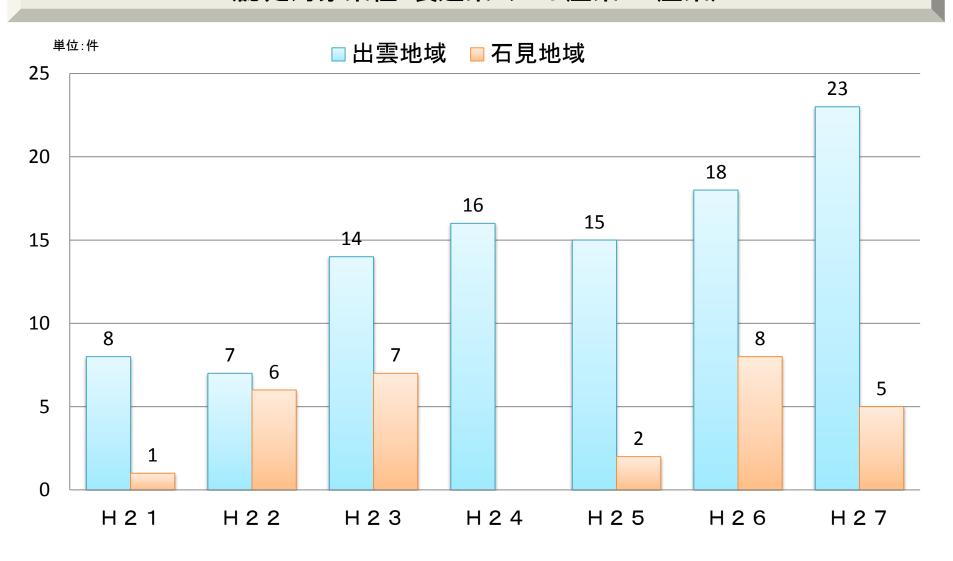
【目標】技能検定制度合格者: 745名(H26) → 750名(H31) 新卒者の就職3年後の定着率 高卒者57.7%(H26) → 70%(H31) など

- ・企業技術者の出前授業や、高校生の技能検定取得等に対する企業の支援等
- 専門高校(商業)とIT企業による共同企画授業の実施

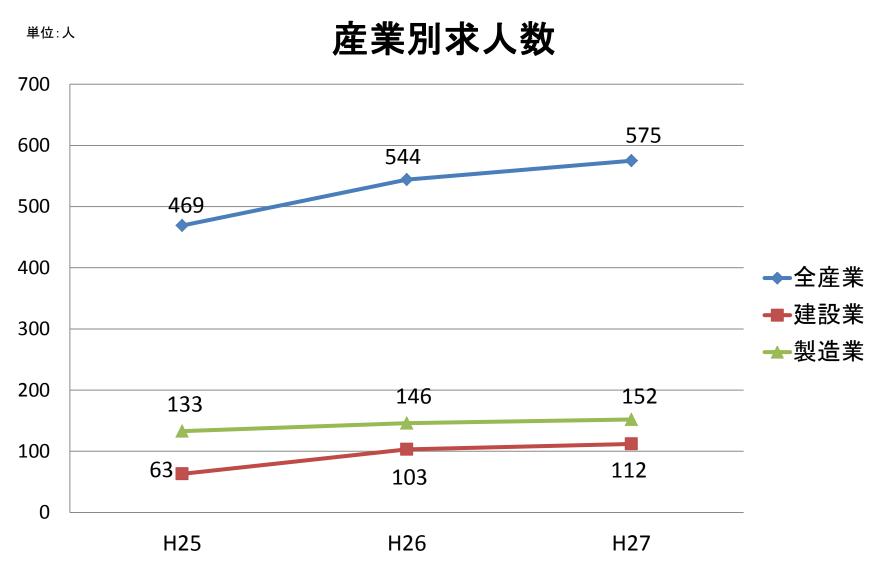
工業高校の就職に関わる業種別の事業所数



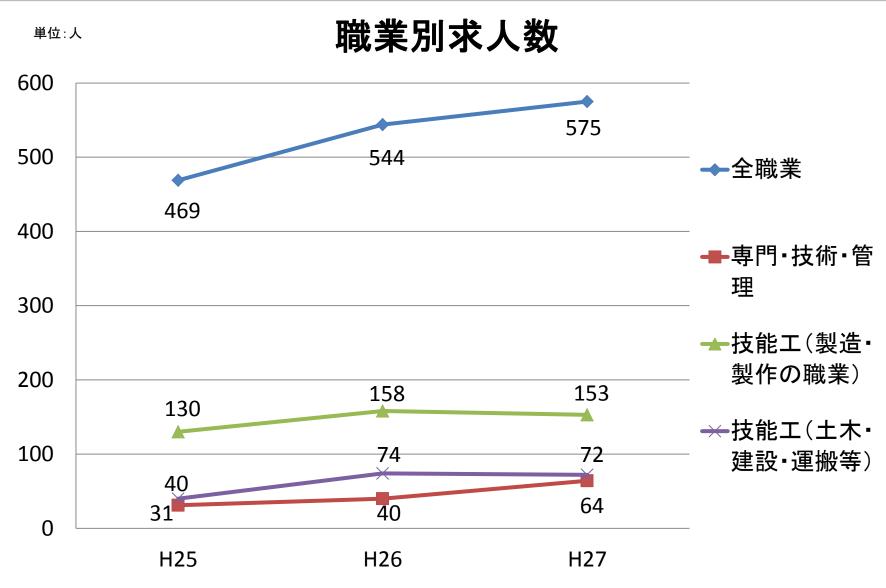
新規企業立地件数 (認定対象業種:製造業・ソフト産業・IT産業)



石見地域における新規高等学校卒業者の求人状況

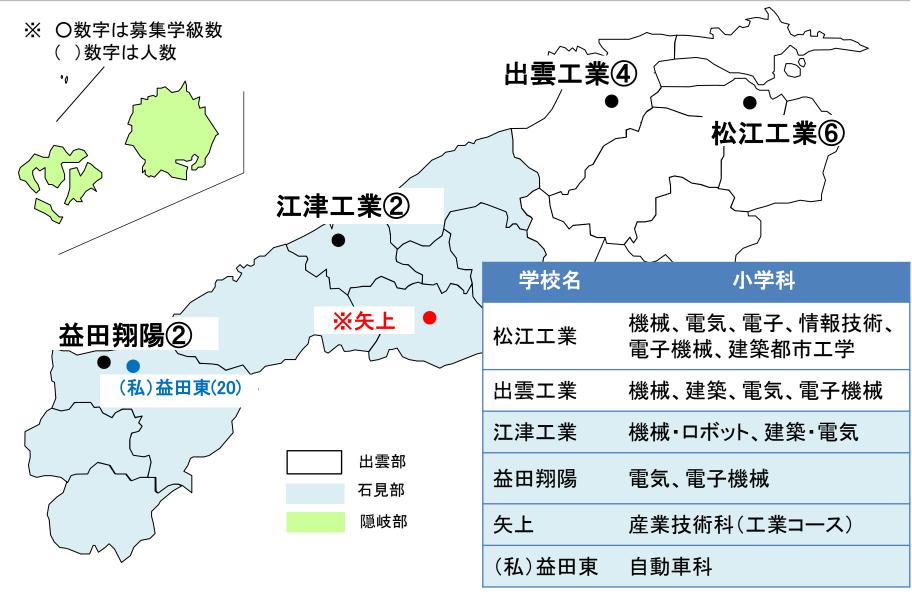


石見地域における新規高等学校卒業者の求人状況

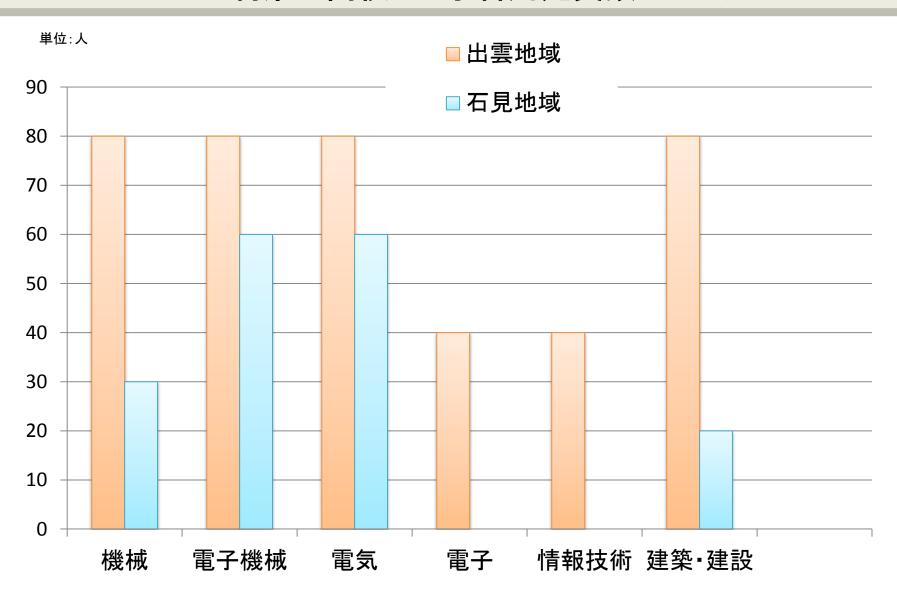


Ⅲ島根県・石見地域の工業教育の現状

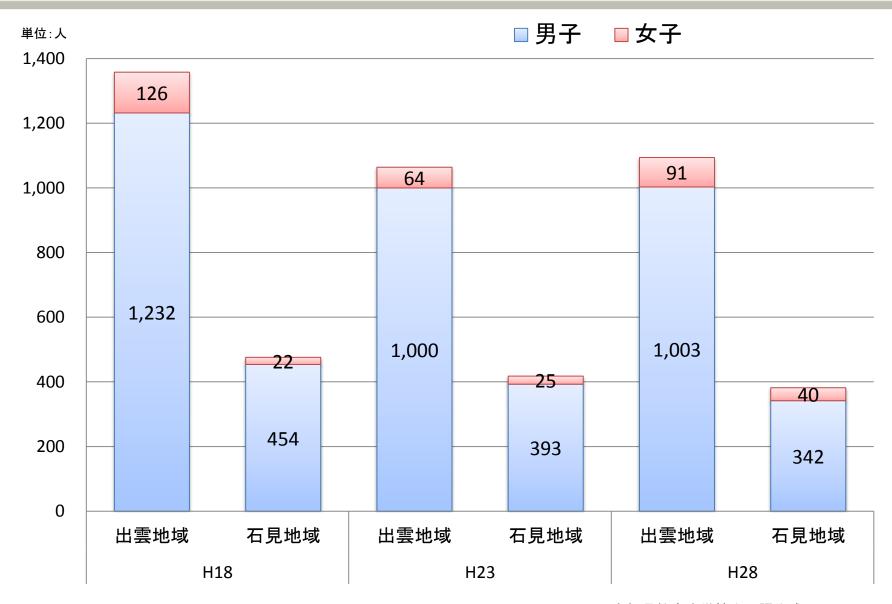
工業科配置状況



全日制県立高校 小学科別定員数(H28年度)

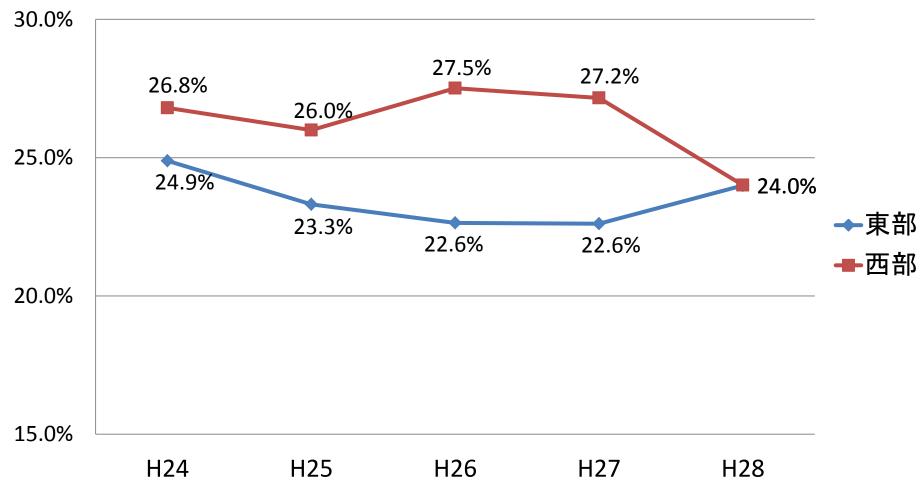


全日制県立高校工業科 在籍者数の推移



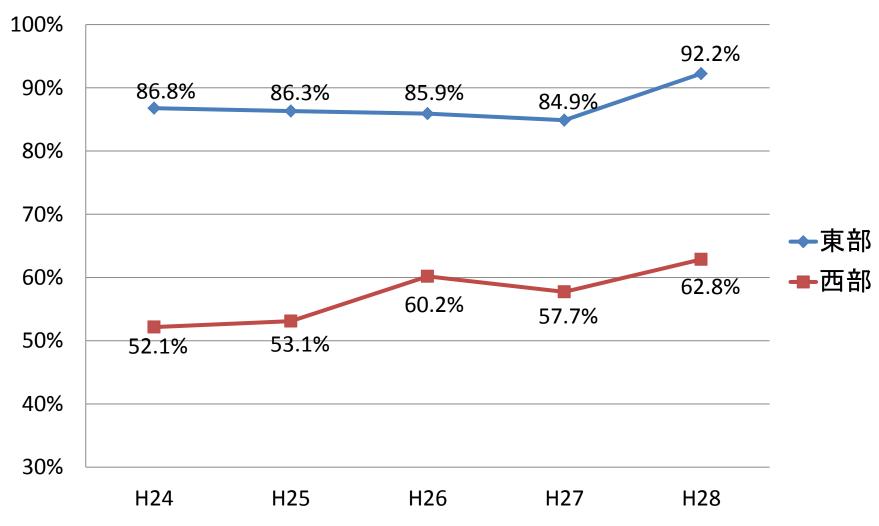
県内高校等卒業予定者の就職希望者比率の推移

- ※「東部」は出雲地域、隠岐地域における、公立、私立、特別支援学校高等部の37校集計 「西部」は石見地域における、公立、私立、特別支援学校高等部の23校集計
- ※各年高校3年生の5月15日時点における進路希望

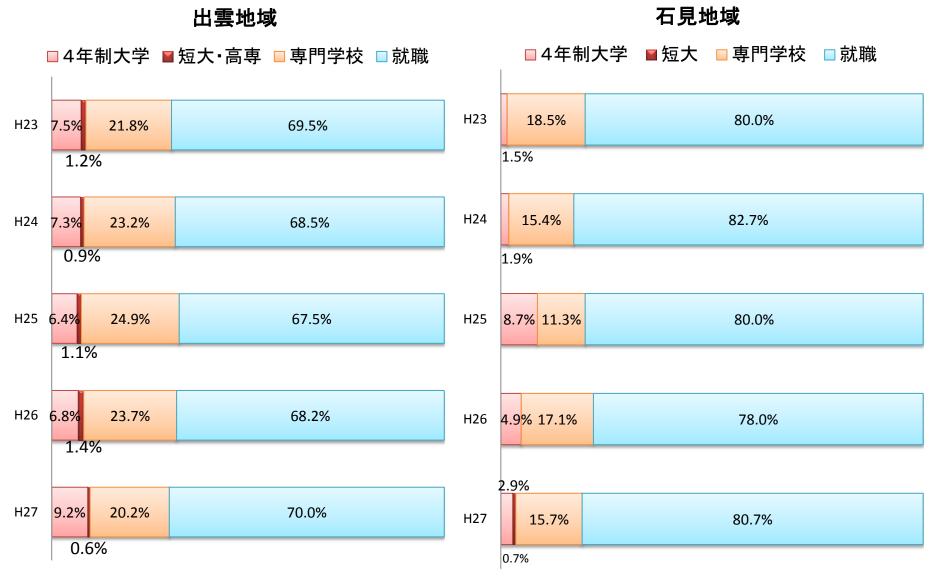


県内就職希望者比率の推移

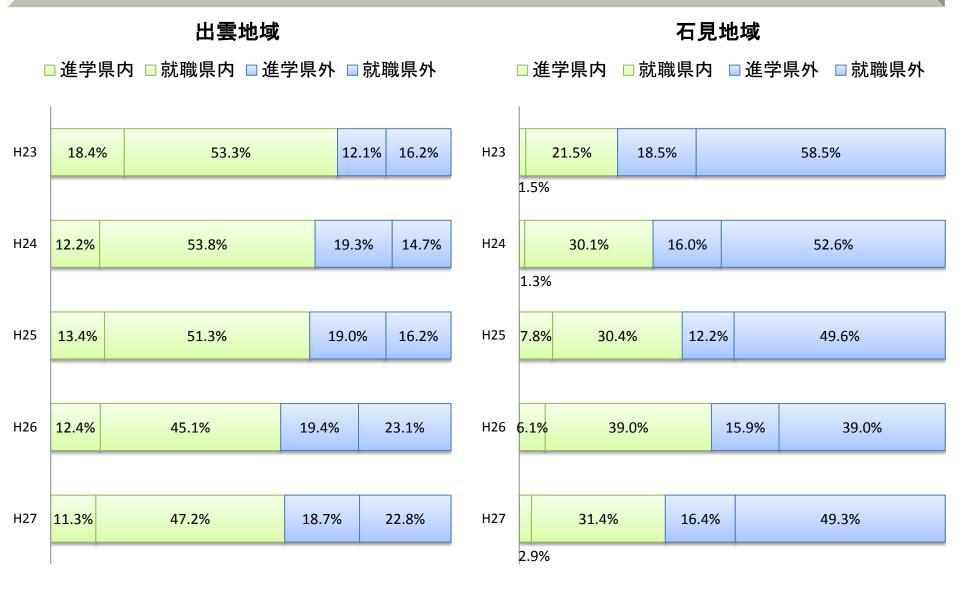
※学校・ハローワーク紹介による就職希望者のうち、県内就職を希望する者の割合



全日制県立高校工業科卒業生進路の推移(進路別)

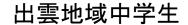


全日制県立高校工業科卒業生進路の推移(県内外別)

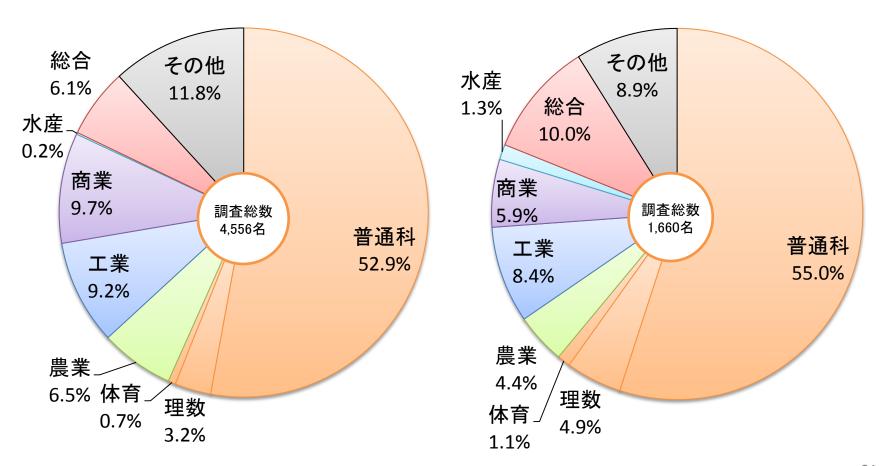


中学生の進路希望(H28年3月卒業生)

- ※県内国公私立中学校の中学3年生を対象に調査。各年9月1日時点における進路希望
- ※「その他」は高専、県外高校、特別支援、定時・通信制、未定等

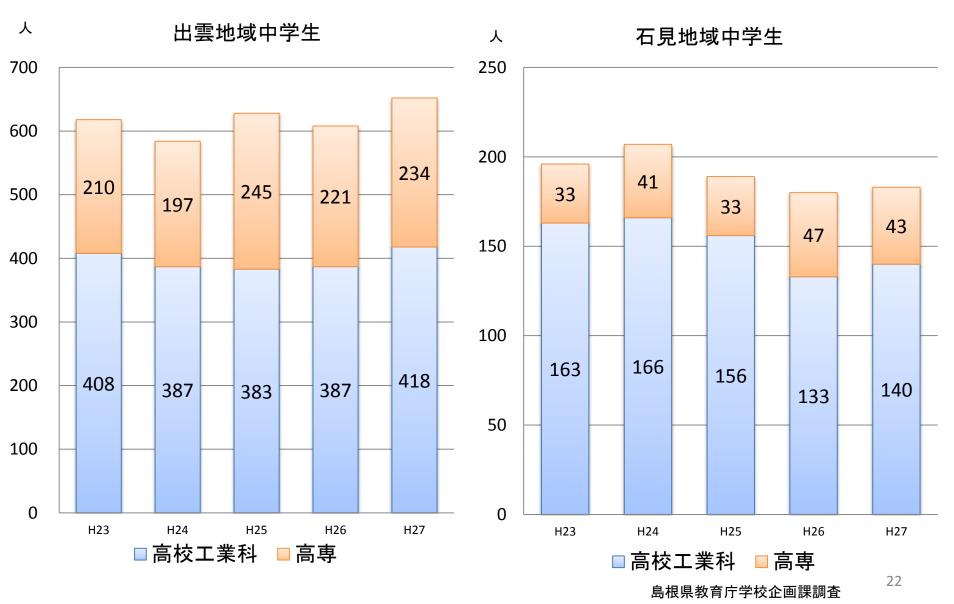


石見地域中学生



中学生の進路希望の推移(工業科、高専希望者数)

※各年9月1日時点における進路希望



(参考資料)

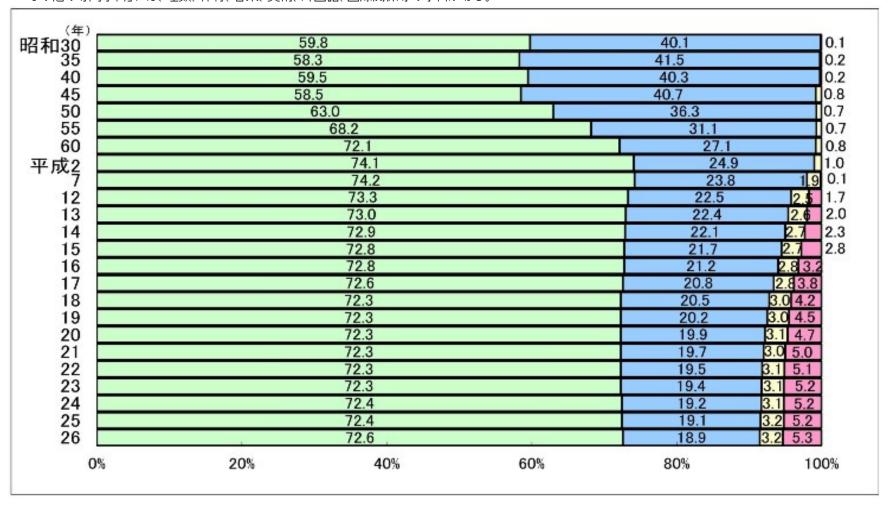
高等学校学科別生徒数の構成の推移

※全日制・定時制のみ

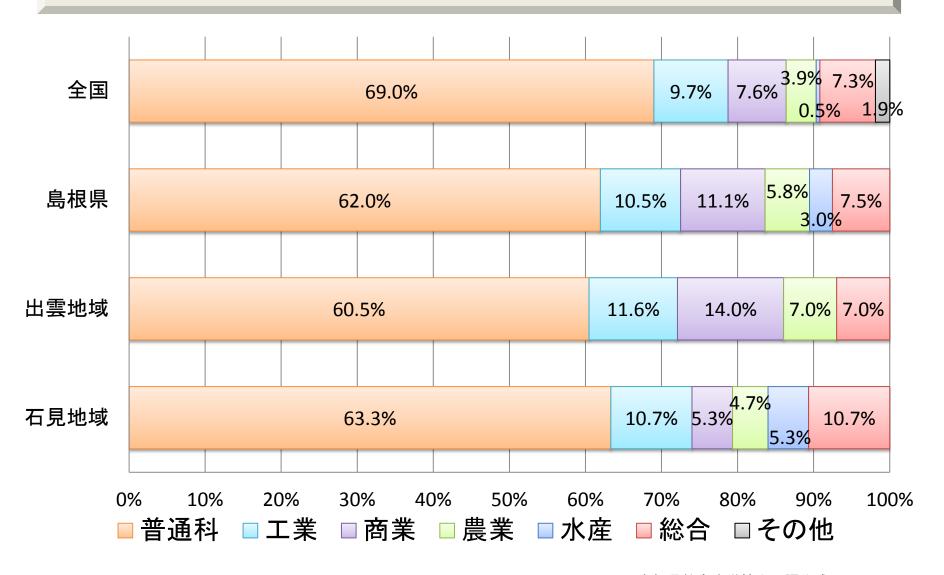
緑...普通科、青...専門学科、黄色...その他専門科、赤...総合学科

※「総合学科」は平成6年度より制度化された。

「その他の専門学科」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。



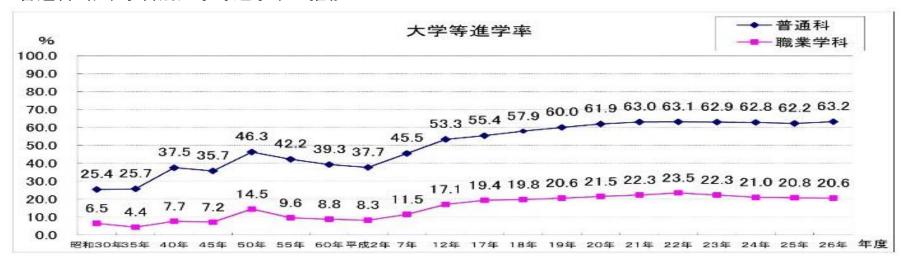
全日制県立高校 大学科別定員比率(H28年度)



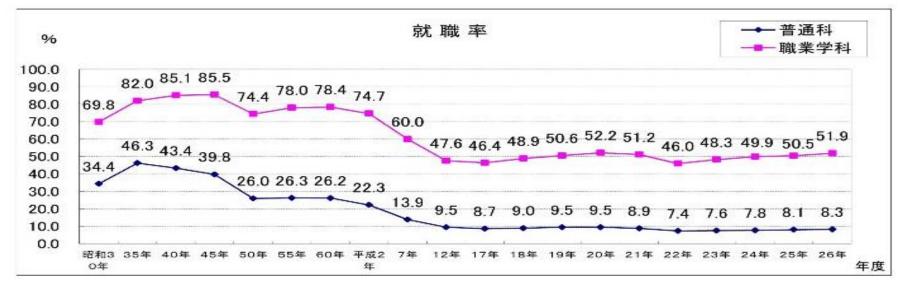
島根県教育庁学校企画課作成 全国は富山県調

普通科 - 職業学科別進学率就職率

普通科・職業学科別大学等進学率の推移



普通科・職業学科別就職率の推移



県内工業高校で取得できる資格(例)

共通資格			
名称	認定•所管機関	級	
危険物取扱者	総務省	乙種1~6類	
情報技術検定	全国工業高校長協会	1~3級	
計算技術検定	全国工業高校長協会	1~3級	
パソコン利用技術検定	全国工業高校長協会	1~3級	

建設系(建築・土木)			
名称	認定•所管機関	級	
建築施工管理技術検定	国交省	2級(※学科試験)	
土木施工管理技術検定	国交省	2級(※学科試験)	
測量士•測量士補	国交省		
建築CAD検定	全国建築CAD連盟	3•4級	
レタリング技能検定	実務技能検定協会	2•3•4級	
色彩検定	色彩検定協会	2•3級	
技能検定(建築大工)	厚労省	3級	
福祉住環境コーディネーター	福祉住環境コーディネーター協会	2•3級	
宅地建物取引主任者	国交省		
インテリアコーディネーター	インテリア産業協会		
建築士 ※基礎資格	国交省	2級	
小型車両系建設機械運転特別教育	厚労省		

[※]実地試験は2~3年の実務経験後受験可能

電気系(電気・電子)				
名称	認定・所管機関	級		
第1種・2種電気工事士	経産省			
電気主任技術者	経産省	第3種		
電気通信工事担任者AI	経産省	第3種		
電気通信工事担任者DD	経産省	第3種		
技能検定(シーケンス制御)	厚労省	3級		
技能検定(電気系保全)	厚労省	3級		
ITパスポート(*情報系)	経産省			
基本情報技術者	経産省			
電気工事施工管理技術者				

機械系(機械・電子機械)				
名称	認定•所管機関	級		
ガス溶接技能講習	厚労省			
技能検定(機械保全)	厚労省	2•3級		
技能検定(普通旋盤)	厚労省	2•3級		
ボイラー技士	厚労省	2級		
機械製図検定	全国工業高校長協会			
基礎製図検定	全国工業高校長協会			
旋盤作業技能士	厚労省	2•3級		
アーク溶接技能者	厚労省			
管工事施工管理技術者				
小型車両系建設機械				
クレーン				
玉掛け				
初級CAD				

県内における工業に関する上級学校等配置状況

